



豊玉二中だより

令和4年度 第10号
発行日 12月5日(月)
練馬区立豊玉第二中学校
校長 神山 信次郎

ナンバーワンよりオンリーワン

副校長 木原 賢三

令和4年も師走となり2学期も残すところあとわずかとなりました。この2学期は、開校60周年記念式典や文化発表会等の行事、日々の学習活動や部活動で各学年・学級がお互いに認め合い、高め合い、支え合いながらより良い豊二中を創り出していくとともに、一人一人が大きく成長することができました。

さて、1948年12月10日に国際連合総会において、世界人権宣言が発表され、それを受け、12月10日を「人権デー」と定めるとともに、12月4日から10日までを人権週間と設定されています。「人権」とは、一人一人が生まれた時からもっている「自分らしく生きる」権利のことで、すべての人が思い合う心によって守らなければならないものです。この一週間は、自分も友達も一人一人違うことを知り、それぞれの違いを大切にすることを考える貴重な週間です。

みんながみんな違うように、全部が同じ人なんて誰もいません。「人権」は難しいものではなく、誰でも、心で理解して感じるすることができます。一人一人の違いを認めたり、自分や相手の良いところを見付けたりして、それぞれが大切な存在であることを振り返って考えてみてください。

しかしながら、今なお、いじめやインターネット上の人権侵害、感染症や障害等を理由とする偏見や差別など様々な人権問題が起こっています。また、皆さんの日々の生活において、無意識に「偏見」でものを見ていることも少なくありません。「男のくせに」「外国人だから」というひとくくりにした考え方は、差別や偏見につながります。最近では、「いじめ」や「SNSによる誹謗中傷」などに代表される、自分の勝手な考えや行動、思い込みで周りの人に偏見をもったり、差別をしたりする言動が問題になっています。

そこで、いじめや差別を見逃さないようにするため、本校生徒会では「豊二中SNSルール」を定め、「差別やいじめ、誹謗中傷のない学校」づくりをめざしています。また、豊二中の伝統である挨拶運動を活発にし、気持ちの良い挨拶が学校生活の様々な場面で交わされることにより、学年・学級関係なく仲間と繋がり、信頼し合える関係づくりを築こうとしています。全ての生徒が一人一人の生徒が相手の気持ちを考えて行動し、より良い学校生活が送れるようにしていきます。

いじめや差別をなくすためには、一人一人が「決して見逃さない、許さない」という意識をもち、力を合わせていくことが大切です。学校においても、人権尊重の教育を推進し、一人一人が「ナンバーワンよりもオンリーワンになる」ことができるように教育活動全体を通して、指導・支援に取り組み、一人一人の人権を大切にしていき、みんなが安心し、安全に生活できる学校づくりに努めてまいります。ご家庭でもこの人権週間を機会に人権の大切さについて、お子様と一緒に考えていただければと思います。

保護者の皆さま、今年も残りわずかとなりましたが、教育活動にご理解とご協力、誠にありがとうございました。来年も引き続き豊二中をよろしく願いいたします。

